

平成24年4月16日

株式会社 内藤商店
製造部

製品安全データシート

製品安全データシート（MSDS -Material Safety Data Sheet-）とは、化学薬品の性質を正しく理解し安全にお取り扱いいただくために、化学物質の性質や取り扱い上の注意、ひとや環境へ与える影響、事故に対する応急処置法を記載した“取扱説明書”になります。

■ 充填製造者又は販売者

会社名 : 株式会社 内藤商店

郵便番号 : 460-0002

住所 : 名古屋市中区丸の内3丁目8番3号

担当部署 : 製造部

TEL : 052-962-5551

FAX : 052-961-5901

緊急連絡先 : 052-962-5551

受付時間 : 月曜日～金曜日 8:00～17:00

製品安全データシート

改訂日：2007年9月20日

1. 製品及び会社情報

製品名	フェノール
会社名	米山薬品工業株式会社
住所	大阪市中央区道修町2丁目3番11号
担当部門	品質管理課
電話番号	(06)6393-4001
FAX番号	(06)6396-7714
緊急連絡先	米山薬品工業(株)三国工場
整理番号	FC0267

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康に対する有害性	急性毒性(経口)：区分4 急性毒性(経皮)：区分3 皮膚腐食性・刺激性：区分1A-1C 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分1 生殖細胞変異原性：区分1B 生殖毒性：区分1B 特定標的臓器・全身毒性：区分1(呼吸器、心血管系、腎臓、神)
環境に対する有害性	特定標的臓器・全身毒性：区分1(心血管系、肝臓、消火管、血液系、腎臓、脾臓、水生環境急性有害性：区分2
*記載のないものは「分類対象外」,「分類できない」または「区分外」。	

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

飲み込むと有害(経口)
皮膚に接触すると有毒(経皮)
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
遺伝性疾患のおそれ
能又は胎児への悪影響のおそれ
呼吸器、心血管系、腎臓、神経系の障害
長期又は反復ばく露による心血管系、肝臓、消火管、血液系、腎臓、脾臓、胸腺、中枢神経系の障害
水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
使用前に取扱説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じんを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
環境への放出を避けること。

【救急処置】

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。

直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除く皮膚（又は毛髪）に付着した場合：直ちに、すべての汚染された衣類を脱ぐこと、取り除くこと。

された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

ばく露又はその懸念がある場合：医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。口をすすぐこと。

眼に入った場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合：直ちに医師の診断、手当てを受けること。

【保管】

施錠して保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別

化学名

別名

成分及び含有量

危険有害成分

化学式又は構造式

官報公示整理番号

CAS No.

単一製品

フェノール

石炭酸

99.0%以上

フェノール

分子式...C₆H₆O

示性式...C₆H₅OH

化審法...(3)-481

安衛法...公表

108-95-2

TSCA...有り

EINECS...2036327

4. 応急措置

眼に入った場合

皮膚に付着した場合

吸入した場合

飲み込んだ場合

1. 清水で十分に洗い流す（できればコンタクトレンズをはずして）。

2. 医師の診断を受ける。

1. 汚染された衣服や靴を脱がせる。

2. 清水で十分に洗い流す。

3. 医師の診断を受ける。

1. 新鮮な場所に移し、安静、保温する。

2. 必要な場合には人工呼吸。

3. 医師の診断を受ける。

1. 口をすすぐ。

2. 多量の水を飲ませる。

3. 吐かせない。

4. 医師に連絡。

5. 火災時の措置

消火方法

消火要領

消防活動装備

消火剤

1. 大量の場合は、水噴霧、耐アルコールで消火する。

1. 防護衣。

2. 空気呼吸器。

3. 循環式酸素呼吸器。

4. ゴム長靴。

1. 粉末、二酸化炭素、耐アルコール泡、水噴霧。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項

環境に対する注意事項

風下の人を退避させる。漏洩した場所の周辺にはロープを張る等して人の立入りを禁止する作業の際には必ず保護具を着用する。

河川等に排出しないように注意する。

除去方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 固体の場合は、防水シート等で覆い飛散拡大防止を図り、容器に回収する。 2. 液体の場合 <ul style="list-style-type: none"> ・大量の流出は、土砂等で流出拡大防止を図り、回収する。 ・少量の流出は、乾燥砂、油処理剤等で回収する。
7. 取扱い及び保管上の注意事項	皮膚に接触したときおよび飲み込んだとき有毒である。火傷を引き起こす。
安全取扱い注意事項	錠をかけ子供の手の届かない場所に保管する。皮膚に触れたら、直ちに多量の・・・（製造業者が指定するもの）で洗う。事故が起きたときあるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける（出来ればハルを見せる）。
安全な容器包装材料取扱い	<p>ガラス</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 裸火禁止。 2. 火花禁止。 3. 79 以上では、密閉、換気。 4. ミストの発生を防ぐ。 5. 作業中は飲食、喫煙をしない。
保管	<ol style="list-style-type: none"> 1. 耐火構造。 2. 強酸化剤から離しておく。 3. 冷所。 4. 暗所に保管。
8. 暴露防止及び保護措置 安全管理上の留意事項	<ol style="list-style-type: none"> 1. 火気厳禁とする。 2. 爆発の危険がある。 3. 皮膚から吸収される。 4. 漏えい飛散した場合の処理時でも防護衣の上に防火服を着装すること。
許容濃度	<p>ACGIH (2003年)</p> <p>TLV - TWA 5 ppm (皮)</p> <p>19 mg / m³ (皮)</p> <p>日本産業衛生学会勧告値 (2003年) 5 ppm (皮)</p> <p>OSHA PEL TWA 5 ppm (皮)</p> <p>NIOSH REL TWA 20 mg / m³</p> <p>60 mg / m³ / 15 M (上限値)</p> <p>MSHA TWA 5 ppm (皮)</p>
設備対策 安全管理・ガスの検知 貯蔵上の注意	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検知管：フェノール用。 1. 耐火構造。 2. 強酸化剤から離しておく。 3. 冷所。 4. 暗所に保管。
保護具	<ol style="list-style-type: none"> 1. 換気。 2. 局所排気または呼吸用保護具。 3. 保護手袋。 4. 保護衣。 5. 顔面シールドまたは呼吸用保護具と眼用保護具の併用。
9. 物理的及び化学的性質 外観等	無色の結晶塊。空気中に放置すると淡紅色になる。大気からの吸湿など少量の水を含むと融点はずっと下がり液化する。灼くような味があり、特異臭がある。腐食性があり、有毒。希薄溶液は甘味がある。
密度(比重または嵩比重)	1. 073 (20)

溶解性	水に可溶。アルコール、エーテルに易溶。クロロホルム、グリセリン、アルカリに可溶。
pH	該当情報なし。
爆発限界	3 ~ 10 %
沸点	181.8
融点	40.95
引火点	79.4 (密閉式)
発火点	715
10. 安定性及び反応性	
危険有害な分解生成物 加熱・燃焼	一酸化炭素 危険性有 1. 加熱すると可燃性・有毒蒸気を発生し、空気と混合し引火爆発危険がある。
水との接触	危険性有 1. 水溶液でも有毒である。
空気との接触	危険性有 1. 可燃性・有毒蒸気を発生し、爆発性混合気を発生する。
混触等	危険性有 1. 酸化剤との混触により、発熱、発火することがある。
11. 有害性情報	
皮膚に触れた場合	1. 吸収される可能性あり。 2. 重度の皮膚熱傷、衝撃、虚脱、昏睡、痙攣、局部麻酔作用。 3. 皮膚炎から壊死にいたるまでの種々の局所障害をおこす。
眼に入った場合	1. 視力喪失、熱傷、結膜腫脹、角膜混濁。
吸入した場合	1. 全身倦怠、呼吸困難、頭痛、めまい、耳鳴、吐き気、虚脱状態(ショック)をおこすことがある。
飲み込んだ場合	1. 震えや痙攣、腹痛、紫色(チアノーゼ)の皮膚、熱傷感、脱力感(「吸入」参照)。
刺激性	ラビット 500 mg / 24H; SEVERE (皮膚) 535 mg open; SEVERE (皮膚) 100 mg; MILD (皮膚) ラビット 5 mg / 30S rinse; MILD (眼) 5 mg; SEVERE (眼)
急性毒性	(RTECS)
吸入毒性	マウスLC50: 177 mg / m ³ ラットLC50: 316 mg / m ³
経口毒性	マウスLD50: 270 mg / kg ラットLD50: 317 mg / kg
経皮毒性	ラットLD50: 669 mg / kg ラビットLD50: 630 mg / kg
がん原性	IARC; グループ3 ACGIH; A4
変異原性	微生物; サルモネラ菌(-S9); 陽性 染色体異常; ハムスター(生体外); 陽性 小核; マウス(腹腔内・経口); 陽性 小核; ハムスター; 陽性
12. 環境影響情報	
生態影響	淡水魚LC50(96hrs): 1.6 ppm 海水産魚LC50(96hrs): 10 ppm
分解性	85% (by BOD) 環境にとって危険であると思われる。水生生物に対して特に注意すること。(ICSC)

微生物等による分解性が良好と判断される物質。(化審法既存点検)

13. 廃棄上の注意

1. 燃焼法: 木粉(おが屑)等に吸収させて焼却炉で焼却する。または、可燃性溶剤とともに焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。
2. 活性汚泥法

14. 輸送上の注意

輸送に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確め、落下、転倒、損傷がないように積み込み荷くずれの防止を確実に行う。

IMDG

クラス 6.1 等級

ICAO / IATA

クラス 6.1 等級 PAT 6 1 3 (25 kg) Y 6 1 3
(1 kg) CA 0 6 1 5 (100 kg)

国連番号 / 国連分類

UN 1 6 7 1 (フェノール、固体) クラス 6.1 等級

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

第2条第1種指定化学物質

消防法

第9条の3政令別表第4指定可燃物可燃性固体類(3, 000 kg)

毒物及び劇物取締法

第2条別表第2劇物(フェノール及びこれを含有する製剤。ただし5%以下を含有するものを除く)

バーゼル法

第2条特定有害廃棄物等(0.1重量%を超えるもの)

大気汚染防止法

施行令第10条特定物質

労働安全衛生法

施行令別表第3特定化学物質等(第3類物質)(5%以下を含有する製剤その他の物を除く)

施行令第18条名称等を表示すべき有害物(フェノール及びこれを含有する製剤その他の物。ただし含有量5%以下のものを除く)、施行令第18条の2〔名称等を通知すべき有害物(MSDS対象物質)〕

薬事法

第44条(施行規則第52条)劇薬

外為法

第29条(施行規則第36条)指定医薬品

輸出令別表第2の35の2項(0.1重量%を超える廃棄物)

海洋汚染防止法

施行令別表第1有害液体物質(C類)

船舶安全法

危規則第3条危険物等級 6.1 毒物(正 6.1 容器等級 2)

航空法

施行規則第194条危険物毒物(M等級 2)

16. その他の情報

引用文献

化学品安全管理データブック(化学工業日報社)

記載内容のうち、含有量、物理/化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。